

様式第7号（第21条関係）

番 号
令和4年 6月30日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀県杵島郡白石町大字福吉260番地1
団 体 名 特定非営利活動法人 き一坊と愉快的仲間たち
代表者職・氏名 理事長 岸川 信義
電話番号 0952-84-4070

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和3年度において当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第7号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第7号 別紙2）

(様式第7号 別紙1)

令和3年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

団体名 特定非営利活動法人 き一坊と愉快的仲間たち

1 事業実施期間 令和3年 4月1日から 令和4年3月31日まで

2 事業の成果（県民の便益にどのようにつながったのかについて記載）

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、成果・効果の見込みを記入してください。

コロナ禍の中、計画通りに実行できなかったが、高齢者を対象にしたサロンでは、日々の生活の中で実践できる健康体操や考え方などを皆さんと実践でき皆さんの便益につながった。また、現在の未曾有の地震や水害についてもワークアウト方式で皆さんと実際の災害が起きた時の対応を訓練することができ、地域の安心安全につながり、防災意識を高めることができた。

3 寄附金を活用して行った事業の実施に関する事項

(1) 今年度寄附金を活用して行った事業（GCFを行った場合はGCF名とその内容を記載）

事業名	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の支出金額 (単位：千円)
①横手下サロン	健康寿命と防災対策のサロン	(A) 5月8日 (B) 横手下公民館 (C) 3	(D) 老人会 (E) 15	1
②木曜おしゃべりサロン	健康寿命と防災対策のサロン	(A) 8月5日 (B) 福吉公民館 (C) 3	(D) 老人会 (E) 20	2
③NPO活動事業	団体の活動を知ってもらうためホームページを作成	(A) 8月1日 (B) - (C) -	(D) 老人会・ 敬老会・ 健康サロン・子供 クラブ等の 会員 (E) 不特定多数	100

(2) 次年度繰越金が発生する場合、その活用見込み

事業名	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所	事業費の支出金額 (単位：千円)
①子供食堂	白石町の各地区で子供食堂を実施	(A) 毎月 (B) 白石町各地区	115

(様式第7号 別紙2)

収 支 決 算 書

区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	351000	
		収入 計	351000
支 出	サロン事業		
	謝金		
	旅費		
	印刷製本費		
	消耗品費		
	使用料・賃借料		
	賞品代	3550	
	事務委託料 (ホームページ作成費)	100000	
	返礼品等の調達に係る費用	86000	
	返礼品等の送付に係る費用	35100	
	ふるさと納税の広報に係る費用	5000	
	ふるさと納税の事務に係る費用	5880	
	次年度繰越金	115470	子供食堂事業に充当予定
	支出 計	351000	

○GCF を行った場合は、GCF の事業単位で支出を区分して記載してください。その他の事業についてもできるだけ事業単位で記載してください。

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。